

氏名	伊藤知子	部署	社会福祉子ども学科	職名	講師
研究分野	音楽、子どもの音楽表現、保育者養成における音楽指導、音楽療法				
学位	修士(芸術学)				
学歴	1997年日本大学芸術学部、1999年日本大学大学院研究科芸術学研究科博士前期				
経歴	2001年青森中央短期大学幼児保育講師、2005年育英短期大学保育学科講師、2008年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師				
所属学会(役職)	全国大学音楽教育学会(会員)				

【2015年度実績】

1. 研究業績					
著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了 ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月	
(1) 著作					
1 該当なし					
(2) 論文					
1 該当なし					
(3) 学会発表					
1 該当なし					
(4) その他					
1 該当なし					
2. 競争的資金等の研究					
競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間	
1 該当なし					
3. 教育業績					
講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)			
(1) 講義					
1 アートとコミュニケーション	2015.4~2015.8	ICTを活用積極的に動画等を使用し授業を実施した。			
2 アートとコミュニケーション	2015.10~2016.2	ICTを活用積極的に動画等を使用し授業を実施した。			
(2) 演習					
1 芸術活動(音楽)	2015.4~2015.8	幅広い音楽を体感することを心がけ積極的にICTを活用した結果、期待した学習効果を上げることができた。			
2 芸術活動(音楽)	2015.10~2016.2	幅広い音楽を体感することを心がけ積極的にICTを活用した結果、期待した学習効果を上げることができた。			
3 保育表現技術(音楽Ⅰ)	2015.4~2015.8	保育の現場に必要な基礎知識と鍵盤楽器(ピアノ)の技能を個人レッスン方式で指導した結果、期待した学習効果を上げることができた。			
4 保育表現技術(音楽Ⅰ)	2015.4~2015.8	子どもの音楽とのかかわりについて実践指導を行った結果、期待した学習効果を上げることができた。			
5 保育表現技術(音楽Ⅱ)	2015.4~2015.8	季節や月の行事に関する知識の習得を心がけアクティブラーニングを心がけた結果、期待した学習効果を上げることができた。			
6 保育内容・指導法(音楽表現Ⅰ)	2015.10~2016.2	歌と出会うをテーマに学生たちにアクティブラーニングを行った結果、期待した学習効果を上げることができた。			
7 社会福祉専門演習Ⅱ	2015.10~2016.2	考察能力、発表能力を上げることを目的に演奏家の生い立ちと音楽性についてゼミ形式で指導した結果、期待した学習効果を上げることができた。			
8 社会福祉専門演習Ⅲ	2015.4~2015.8	考察能力、発表能力を上げることを目的に社会における音楽の効果についてゼミ形式で指導した結果、期待した学習効果を上げることができた。			
9 社会福祉専門演習Ⅳ	2015.10~2015.2	考察能力、発表能力を上げることを目的に音楽の持つ力についてゼミ形式で指導した結果、期待した学習効果を上げることができた。			

(3)実習			
1	ヒューマンケア体験実習	2015.4～2015.10	科目責任者として他の施設のことも気にしながら積極的に指導した。
2	保育実習ⅠA	2015.9～2015.10	3年次生を対象に、保育所を使用して12日間の臨地実習指導を行った結果、期待した学習効果を上げることができた。
3	保育実習ⅠB	2015.2～2016.3	3年次生を対象に、児童福祉施設を使用して12日間の臨地実習指導を行った結果、期待した学習効果を上げることができた。
4	保育実習Ⅱ	2015.8～2015.9	4年次生を対象に、保育所を使用して12日間の臨地実習指導を行った結果、期待した学習効果を上げることができた。
5	保育実習Ⅲ	2015.8～2015.9	4年次生を対象に、児童福祉施設を使用して12日間の臨地実習指導を行った結果、期待した学習効果を上げることができた。
6	保育実習ⅠA事前事後指導	2015.4～2015.10	3年次生を対象に、保育所を使用する臨地実習の事前事後指導を行った結果、期待した学習効果を上げることができた。
7	保育実習ⅠB事前事後指導	2015.10～2016.4	3年次生を対象に、児童福祉施設を使用する臨地実習の事前事後指導を行った結果、期待した学習効果を上げることができた。
8	保育実習Ⅱ事前事後指導	2015.4～2015.10	4年次生を対象に、保育所を使用する臨地実習の事前事後指導を行った結果、期待した学習効果を上げることができた。
9	保育実習Ⅲ事前事後指導	2015.4～2015.10	4年次生を対象に、児童福祉施設を使用する臨地実習の事前事後指導を行った結果、期待した学習効果を上げることができた。
10	教育実習(幼)Ⅰ	2015.4～2015.10	2年次生を対象に、幼稚園を使用して5日間の臨地実習指導を行った結果、期待した学習効果を上げることができた。
(4)論文指導			
1	卒業研究	2015.4～2015.12	主指導:2名
(5)その他			
1	卒業式の歌の指導	2016.2～2016.3	卒業生退場時に歌う合唱指導および伴奏を行った。
4. 社会貢献活動			
(1)講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	子育て支援講座(子育ては楽しい)歌って遊ぼう第1回	埼玉県立大学	子どもの歌を手遊びや踊りを通して親子で楽しむことをテーマにした。
2	子育て支援講座(子育ては楽しい)歌って遊ぼう第2回	埼玉県立大学	子どもの歌を手遊びや踊りを通して親子で楽しむことをテーマにした。
	開催年月		
1			2015.11
2			2015.12
(2)国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	該当なし		
(3)ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
5. 学内運営(委員会委員)			
1	保健委員会		
2	地域産学連携委員会		
3	キャンパスハラスメント委員会		
4	入試実施部会(福祉子ども学専攻担当)		
5	保育士審査委員会		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		